

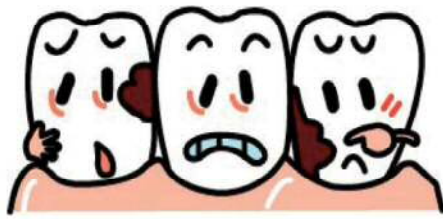
ご存知ですか？

糖尿病と歯科疾患

糖尿病で高血糖の状態が続くと尿の量や回数が増えたりすること(多尿)があります。多尿により唾液の分泌量が減少し口の中が乾く症状(口渇)が現れます。

口の中の清掃状況が悪いと唾液量の減少に伴い、免疫力が低下してむし歯の多発や歯周病の重症化が起こりやすくなります。

糖尿病でコントロール不良の患者さんでは唾液の減少により唾液中の糖分濃度が高まり口の中の清掃状況が不良だと細菌の繁殖が助長され、むし歯が多発しやすくなります。



唾液量の減少



むし歯の多発化



糖尿病でコントロール不良の患者さんでは感染に対する組織の抵抗力の減弱と唾液の減少による自浄作用の低下により、歯周病が悪化しやすい状態になります。



免疫力が低下する



歯周組織の破壊が進行



糖尿病患者さんはむし歯や歯周病など歯科疾患に罹りやすく、重症化傾向にあります。

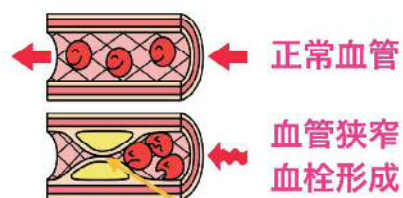
正常な血糖値を維持することは、身体全体の健康だけでなく、お口の健康のためにも重要です。



糖尿病と歯周病が全身に及ぼす影響！

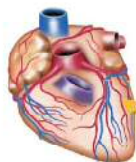
糖尿病の重篤な合併症として網膜症、腎症、神経障害は知られていますが、動脈硬化性疾患(心筋梗塞、脳梗塞)を引き起こす特徴があります。

アテローム動脈硬化

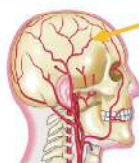


歯周病菌が血栓形成に関与

冠動脈で発生:心筋梗塞



脳血管で発生:脳梗塞



血栓
塞栓

歯周病と動脈硬化

歯周病菌が歯肉から血管内に侵入

↓
歯周病菌による内毒素や炎症性物質の産生

↓
血管に炎症を起こし、血栓形成の促進や動脈硬化が進行する

糖尿病で重度歯周病の方では危険性がさらに亢進されると考えられています。

口腔における糖尿病の徴候および症状

- ・ドライマウス(口腔乾燥)になりやすい。
- ・むし歯、歯周病になりやすく、重症化しやすい。
- ・口内炎や口腔カンジタ症になりやすい。
- ・アセトン臭のある口臭、口臭が強くなりやすい。
- ・歯肉や粘膜に痛みを感じたり、傷が治りにくいなどの症状。



歯周病の予防と管理

- ・1日少なくとも2回、歯垢を除去するため念入りに歯ブラシによる口腔清掃を実践し、毎日1回は歯間ブラシやデンタルフロスを使っての歯間部清掃を行いましょう。
- ・喫煙者の方はたばこを止めましょう。
糖尿病で喫煙を続けると、それだけ歯周病になる危険性が高まります。
- ・かかりつけ歯科医の定期健診を受けましょう。
歯周病の予防と治療が重要です。メンテナンスによる長期的に良好な状態を維持することも必要です。

